

【教育目標】
明日に生きる力をはぐむ
赤小の子
 あいてを思いやり、認める子
 からだをきたえる子
 しょうらいのゆめや希望に向かって、
 努力する子
 発行責任者 校長 姉帯 隆文

「運動会、ありがとうございました」

校長 姉帯 隆文

少し前から校舎の軒先につばめが巣を作り、毎日校舎の周りを飛び回っている様子が見られます。子育ての真っ最中のような様子です。暑くなったり涼しくなったりのこの頃ですが、夏休みまで1か月を切り、7月の登校日はあと17日となりました。学校では、忘れかけた学習をふり返りながら1学期のまとめを進めます。

6月1週目には運動会を開催しましたが、2日間の延期の末平日開催となってしまい、参観できなかった方もいたと考えます。その3日間は予報が絶えず変わり判断が難しい天気でした。実施した月曜日微妙な天気となり、その場で判断し対応をすることとなりました。その結果、屋内と屋外を組み合わせ、さらに、プログラム順を入れ替えての実施となりました。このような状況ではありましたが、全種目何とか最後まで行うことができ、最後の団体種目全校リレーは接戦で、見応えがあるものとなりました。結果的には6年連続の白組の優勝となり、閉会式で優勝トロフィーを授与しました。さらに最後はカルデラ太鼓で今年の運動は終わりました。屋内外への移動時は保護者の方々に道具や放送機器・太鼓の運搬・準備、競技終了後はテントの撤収など、保護者のご理解・ご協力の上に成り立っていたことをしみじみ感じる運動会でした。このような中でも子ども達の頑張りや拍手を送っていただき、子ども達も全力を出すことができました。ありがとうございました。どんな状況でも力を出そう・全力を出せようという気持ちの強さを高めるよい機会・経験となってくれたらと思います。運動会終了直後、あるお父さんから一言、「一日で終わってよかったですね。」本当にその通りです。ご心配おかけしました。

「褒め方には注意が必要」

ある雑誌の特集『「子どもたちとのつながり方」-原則と実践-』の中に下のような記事がありました。1990年にコロンビア大学が行った研究がある。10～12才の子ども達約400人を対象に知能テストを受けさせ、個別に「あなたは100点満点中80点だ」と全員に伝えた。そして、子どもたちを3つのグループに分け、グループ1には、『本当に頭がいいね』、グループ2には『努力の甲斐があったね』、グループ3には『何も言わない』とした。その後、難しい問題とやさしい問題を選択させ、やらせた結果、グループ1の子どもが他のグループよりやさしい問題を選ぶ子どもが多かった。さらに、全員に難しい問題をさせた結果、グループ1の子どもには本当の成績よりよい点数を報告した子どもが多くいて、グループ2・3の子どもの方よりはるかに成績が悪かった。さらに、グループ2の子どもは難しい課題に面白がって取り組み、最後の課題ではどのグループよりも多くの問題を解いていた。

この研究から、「頭がいいね」とただ褒められた子は、挑戦する意欲を失い、失敗するとうそをつく傾向が強いことがわかったそうです。つまり褒め方には注意が必要であり、結果だけを褒めるのではなく、チャレンジする姿勢・工夫を褒め、評価することが、失敗を恐れない心を育て、その子の能力を伸ばすこの研究チームは結論づけています。

褒められてばかりの子どもは、チャレンジ意識が薄れ、できることしかやらないようになります。失敗するとすぐめげ、褒められることが目的化し、ほめられないならやらないということになりがちです。叱られたり注意されたりばかりなら、チャレンジするどころではなく、何もする気は無くなってしまいます。「どうせやってもしかられるだけ、それならやらないほうがまし」…。

子どもは結果を考えずいろいろなことにチャレンジすることも大事です。そして、時には努力を認めもらうこと・ほめてもらうことが大切です。もちろん叱られるときもあると思います。これらが繰り返されることが、さらに次へのやる気になり、難題や逆境にぶちあたってもトライしてみようとする心、失敗してもくじけない強たくたくましい心が育ち、社会に出たときにも耐えられる精神力が徐々に備わっていくのだと思います。

褒めるばかり叱るばかりではなく、褒めるときにも褒め方が大事です。もちろん無関心もだめです。何とも難しいですね。また、褒める叱るのその前に、話を真面目に聞いたり話し合ったりできる関係や状態を保つことが大切です。

「いじめ」から「つながり」へ

テレビや新聞、インターネットで「いじめ」に関する報道が続きます。報道される「いじめ」は、どれも深刻な事例ばかりです。「どうして気づいてあげられなかったの？」と私たちは心を痛め、同時に「自分の子ども（赤小の子ども）は大丈夫だろうか。深刻になる前に助けてあげなくては」と考えます。

一方で、「子どもはぶつかり合って成長するもの。以前も似たようなことがあり、乗り越えることができた。今度も自力で乗り越えて欲しい」と考えることもあります。

私たちは、「いじめ」を「嫌な思いをすること」と捉えます。子どもが1日学校で過ごす「嫌な事」に出会うこともあります。その大半は、学校を出る頃には忘れて、布団に入って眠ってしまえば忘れていきます（自分で「乗り越えた」）。でも中には、忘れられないものや、近くで見ている人には心配なものもあります。そんな時、私たちは「大丈夫？心配しているよ」と声をかけます（いじめを「認知」します）。その時、子ども自身が「うん、ちょっと嫌な事があったんだ」と素直に話してくれるような「つながり」を私たちは大切にします。その「つながり」こそが、子どもをいじめから守るものだと考えるからです。

いじめ事例から考える

文科省「いじめ対策に係る事例集」より

<事例>

Aさんは、小学3年生の女の子です。いつも同じグループのBさん、Cさんと登校していました。11月のある時、3日間にわたってBさんとCさんに「足ふみ遊び」をされました。Aさんは、足が痛かったとしても嫌に思っていたが、自分からは言い出せませんでした。それを見ていた別の子どもが心配し担任の先生にこのことを言いました。担任の先生は、3人に事実を確認しました。Aさんは黙ったままでした。BさんとCくんは、「遊びだ」と言いました。

*この事例は赤小であったことではありません

この事例は、「いじめ」でしょうか。私たちはこの事例を「いじめ」と捉えます。Aさんが「足が痛かったし、とても嫌に思っていた」からです。他の2人にとっては「遊び」であっても本人がどう捉えているのが大切です。そしてAさんを守ろうとした（つながろうとした）のは、教えてくれた「別の子ども」と事実を確認した「先生」です。「いじめ」対応は初動が大切です。このいじめに対し適切な介入ができれば、Aさんはこのいじめを乗り越え、そのことを忘れることができるからです。

赤井川小学校のいじめ防止の校内体制



本校ではいじめ防止対策推進法に則り、「いじめ防止対策委員会」等の校内組織を左図のように設置しています。日常的な「いじめ（嫌な事）」に対応するだけでなく他組織と連携する事例にもこのように対応します。

「気づき」と「つながり」を大切にし、生徒指導としていじめ防止に努めてまいります。

いじめ把握のためのアンケート調査結果(5～6月実施)

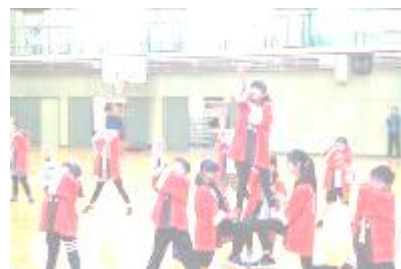
いじめ把握のためのアンケートを実施し、全件について聞き取りましたのでお知らせします。今回の結果や上記の校内体制、困った時にどうしたら良いかについて、6月の全校朝会や各学級で全校児童に説明しています。

- ①いやなことの有無 :ある…10件
 - ②いやなことがある学年 :低学年9件、高学年1件
 - ③いやなことがあった場所 :校内1件、校外9件
 - ④いやなことの継続 :継続あり3件、なし7件
- *「継続あり」については定期的に聴き取りをします。

アンケート調査結果によると「低学年で、学校外に、いやなことがある」という傾向が明らかになりました。これからも校内外に関わらず子どもとの「つながり」を大切に、いじめ防止に努めてまいります。

支えていただいた運動会

6月5日（月）の運動会は、子どもたち、保護者・地域の皆様に支えていただいた運動会となりました。6月3・4日は雨天のため延期としましたが、5日当日も不安定な天気の中、急遽体育館で実施したり、天候の回復を待って一部をグラウンドで行ったりするなど想定外の事態の連続でした。保護者の皆様、参観者の皆様に、会場の移動や用具の運搬などにご協力いただいたおかげで、無事全プログラムを実施する事ができました。子どもたちの心に残るよい運動会となりました。大変ありがとうございました。



「赤小ソーラン」全校児童がリズムに合わせて踊りました。



「大玉転がし」息を合わせながら大玉を転がしました。



「玉入れ」玉入れのかごが玉で膨らむほど入りました。



「綱引き」「セーノ、セーノ」と力を合わせて引きました。



「紅白リレー」バトンパスもきまり全力で走りぬきました。



「カルデラ太鼓」グラウンドいっぱいには太鼓が響き渡りました。

〇〇見て見て!

「うわあ すごい」

3・4年生が熱い視線を向けているのは、教室前に置いた水槽です。その中では、ドジョウやウグイなどの川の生き物（総合的な学習の時間にカルデラ公園などの川で捕まえてきた生き物）が、朝ごはん中。パクパクとミズを丸呑みする魚の迫りに子どもたちは心を奪われていました。「すごい。こんなふうに見えるんだ」写真や動画にはない本物の迫りに目が輝く子どもたちです。

赤小カレンダー 7月

日	曜日	予定
1	土	
2	日	
3	月	全校朝会・参観日（5・6年）
4	火	参観日（3・4年）・レク
5	水	読み聞かせ 合同学習（5・6年）
6	木	A日課 水泳学習（1～4年）
7	金	参観日（1・2年）水泳学習（5・6年）
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	水泳学習（1～4年）
12	水	読み聞かせ 児童会
13	木	A日課 交通安全街頭指導～19日まで
14	金	水泳学習（5・6年）
15	土	
16	日	
17	月	海の日
18	火	
19	水	読み聞かせ クラブ活動
20	木	A日課
21	金	なかよし班学び合い
22	土	
23	日	芸術鑑賞（村）
24	月	児童面談 5時間授業
25	火	児童面談 マイランチデー（お弁当）
26	水	終業式 3時間授業
27	木	夏季休業 PTAラジオ体操
28	金	夏季休業 PTAラジオ体操
29	土	夏季休業 PTAラジオ体操
30	日	夏季休業 PTAラジオ体操
31	月	夏季休業 PTAラジオ体操 学習会

■水泳学習

7月6日～14日にかけて、村営プールで各学年2回ずつ水泳学習を行います。学習用具の準備や体調管理へのご協力を、お願いします。

■参観日

7月3日～7日にかけて参観日を実施します。学級懇談会では、1学期のふり返りなどについてお話しします。

■交通安全街頭指導

夏の全国交通安全運動に合わせて、PTA生活部のみなさんと学校職員が街頭指導を実施します。7月13日・14日・18日・19日の4日間の予定です。

■クラブ活動

3年生以上の子どもが参加して、クラブ活動を実施しています。本年度は、「球技クラブ・家庭科クラブ・理科実験クラブ」の3クラブを実施します。

■今後の主な予定

弱点克服学習会	7/31-8/2
2学期始業式	8/21
学習発表会	10/22
保護者面談	10/24-31
2学期終業式	12/22
3学期始業式	1/17
卒業式	3/19
修了式	3/22